

ふりがな 氏名	いずみ こうたろう 泉 光太郎	都道府県 神奈川県	
所属/肩書	東洋大学文学部教育学科イブニングコース		
私のESD活動	「ナナメの関係」との対話による生徒の心にやる気の火を灯し、「生き抜く力」を育むキャリア教育		

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は大学1年生から2年生までNPOカタリバという中高生のキャリア教育をする団体でボランティアをしていました。現在、日本では「自分には価値がない」、「将来のことがわからない」という中高生が6人に1人という割合でいます。自信が持てない彼らは今見えている世界しか見えていないため将来や自分の可能性に希望を感じられないという現状です。生まれところによって自分の進路や職業が決まってしまうようなことを少しでもなくすために、私たちは彼らに「ナナメの関係」による関係で自分や将来への視野を広げます。今まで生徒の周りは先生や親といったタテの関係と友達や部活動の先輩といったヨコの関係でコミュニティが構築されていました。そこに会ったこともない普通の大学生や社会人というナナメの関係を築くことで、学校内で社会というものが何かを体感できると考えています。私たちはそんな体感を「対話」を通して授業をします。先輩が教えるのではなく生徒と対話をする事で先輩の知らないこと、生徒の知らないことを共に感じ合う「半学半教」の関係になることで生徒は自分にしかないものやできることを見つけることができ、自信につながり、将来を考えるきっかけを持つことができます。今まで学校教育、特に公教育は先生だけで教えることが多かったが、子供たちの多様な個性や将来への自信を育てるためには「学校で育てる」より「社会で育てる」ことが重要だと私は考えています。学校と社会がつながりをもつ教育をすることをカタリバは先駆的に活動しています。

○「カタリ場 HP」 <http://www.katariba.net/>

○「NPOカタリバ事業紹介ムービー」 <https://www.youtube.com/watch?v=YtNZOqkxVUQ>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

私たち若者が次の世代として「栄区誕生 60周年」を目指して、持続的な発展をしていくためにはまずは若者たちが栄区について考えられる機会を作ることが必要だと私は考えます。そのため今後は地元の中高生や大学生が交流できるコミュニティやイベントをつくり、まずは若者同士のつながりを強めていこうと考えています。そして私たち若者が栄区にできること考えるために勉強会や提言会などをつくっていこうと考えています。また地域の中学校・高校との連携も行い、学校の授業で「栄科」として「学校として栄区に貢献できること」を考え、実践するPBL学習も行いたいと思います。

将来的には行政や民間企業、NPOとの連携なども行い、若者たちによるソーシャルビジネスやローカルビジネスをするための私塾なども立ち上げて、行政への若者による政策提言も行っていきたいと考えております。

若者が社会と交わりを持つにはまずは身近な地元からできることをすることによって自信がつくと考えています。その他者貢献、社会貢献があるによって人は「自分の存在価値」を感じることができ、主体的に学べるのだと私は思います。今後は私が当事者意識を持ち「地域で人を育てる」ということを栄区から発信していき、行く行くは横浜市、神奈川県、日本に広めていき、「社会で人を育てることができる社会」を創っていきたいと考えています。